



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/9/13 №17

八地申 4号

8/31 提出

「変革2027」の実現に向けた 組織再編における申し入れ提出！



「変革2027の実現に向けた組織再編」に関する提案を受け、組合員や職場で働く仲間たちとの議論をもとに解明申し入れも行い、7月29日に解明交渉を行い42項目に渡って会社と議論を行ってきました。支社で担ってきた企画業務の一部を現業機関で実施することで、よりお客さまに近い場所での発意発想をもとに、スムーズな業務運営を実現し、これまでの重複業務を整理しより生産性を高めた業務執行体制を確立していくことを確認してきました。

トッププライオリティーである「安全」を基礎とした施策と企業風土を維持し、組合員・社員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を持てるような施策を創り出すために下記の通り申し入れいたしました。

1. 「変革2027」の実現に向けた組織再編施策の実施にあたっては、安全・安定した輸送体制の構築並びに、技術継承・技能継承の維持・向上を図ること。
2. 今施策を通じて、重複業務の削減により、社員の働き方改革を実現し、業務負担を軽減し、超勤の削減などに繋げること。
3. 業務の融合と連携を実現する上で、労働時間管理を的確に行い個人間のLINE等でのやり取りにおいて自分の時間で業務の対応などを実施しない体制を構築すること。
4. 活躍フィールドを広げることによって、休憩時間・在宅休養時間・勤務間インターバルの確保を妨げることのない体制を確保すること。
5. 現段階支社内で業務を行っている現在員数を明らかにすること。また現場に移管される企画業務を行う上で必要な要員数を明らかにすること。
6. これまで築き上げてきた鉄道事業における専門性の高い知識や技術および技能を次世代へ継承できる体制を確立すること。
7. 今施策実施後に現業機関に権限委譲される企画業務を明らかにすること。
8. 今施策実施後に支社にて実施する業務内容を明らかにすること。
9. 今施策実施後に、首都圏本部で実施する業務内容を明らかにすること。
10. 2022年10月に実施する企画部門の再編及び業務の見直しについてスムーズな業務運営を可能とするため、調整先の現改比較表等の資料を作成し関係者へ周知徹底すること。
11. 今施策実施に向けて、非現業で働いてきた社員に対して現場で必要な教育訓練を随時実施していくこと。
12. 支社車両課で実施してきた防犯カメラ画像読み出し、事故復旧指揮、雪害体制の確保などの業務については、支社で実施できるよう体制を確保すること。
13. 首都圏本部に集約される車両関係業務において各車両センターをフォローできる体制を支社内においても確保すること。
14. 2023年6月実施予定の車両センターの再編および設備技術センター設置における詳細について改めて労使議論の場を確保すること。
15. 施策実施後は、労使が十分に検証を行い、問題や議論経過に変更が生じた場合は、労使間の合意形成を図るために真摯な議論を行うこと。